医療法人社団 埼玉巨樹の会 新久喜総合病院

ともに vol. 12

～患者様と共に、地域の皆様と共に、職員と共に～

院長よりご挨拶
心臓血管外科のご紹介
部活紹介
健康体操
看護部長よりご挨拶
野球部1部リーグ昇格
地域医療ネットワーク





昨年は2月に端を発した新型コロナウイルスの流行に世界中が巻き込まれる激動の年でした。終息が見えないまま年が明け、地域の皆様におかれましては日々感染のリスク蔓延の中での生活かと察します。その中で私ども医療従事者はどうすれば地域により貢献できるかを模索しながらの勤務を続けております。

埼玉県はコロナ専用病床として各病院合わせて1,000ベッドを確保していますが、患者増加に伴い本年3月には1,400まで増やす計画です。県の要請を受けて新久喜総合病院でも10ベッドを用意しています。運用に際しては他の患者さんおよび職員への院内感染を防ぐことを絶対の使命として感染対策を講じております。その結果、依然として入院患者さんへの面会制限や、外来通院での体温チェック、マスク着用、手指消毒などたいへんご不便をおかけしていますが、引き続きご理解のほど何卒よろしくお願いいたします。

新久喜総合病院は地域の急性期医療の柱となることを目標に、心臓疾患、脳卒中、外傷、がんなどへの対応を積極的に行ってきております。コロナ感染対策の中で、従来の診療が滞り医療レベルが下がることがあってはならないと、職員一同本年も張り切って職務にあたります。本年も診療内容、職員の接遇、病院設備などについてのご意見、ご要望などをいただければ幸いです。チーム医療で病院の力を伸ばし、ますます地域医療の充実をはかりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

新久喜総合病院　院長　志田　晴彦



昨年は、新型コロナウイルスに翻弄された1年でした。まだまだ、新型コロナウイルス感染症の拡大・まん延はとどまるところを知りません。そのような中、「私たちに今できることは何か?」を常に考えつつ、病院理念であります「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」に則り、知識・技術を磨き、相手へのこころづかい、優しさ、思いやりのこころを持って医療（看護）をさせていただきたいと思っております。そして、職員も「夢を描き、知恵を絞り、努力を惜しまず」笑顔を持って楽しく仕事ができるような職場を作っていきたいと思います。

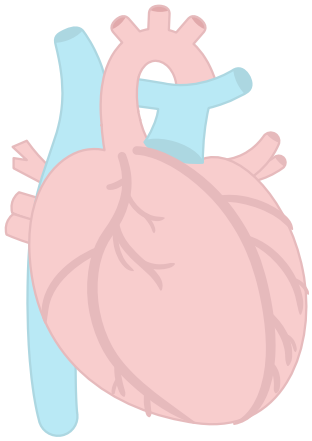
病院としての形は大分できました。これからは、中に魂を吹き込むべく、益々医療・看護の質を高め、地域の皆様に選ばれる病院を目指し地域医療に貢献してまいりたいとおもいます。

今年1年が皆様にとって実り多き素晴らしい1年になりますようお祈り申し上げます。

今後とも、あたたかいご支援、ご助言をこころよりお願い申し上げます。

新久喜総合病院　看護部長　朝穂　美記子

心臓血管外科のご紹介

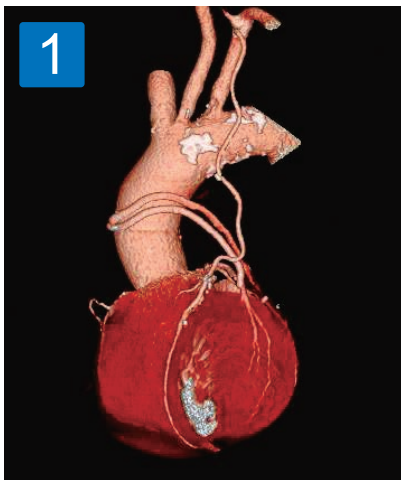


心臓血管外科は心臓疾患、大動脈疾患、末梢血管疾患を扱う診療科です。当院の循環器内科、近隣の循環器内科、総合内科でご開業の先生方をはじめとして、外科的治療が必要な循環器系疾患の患者様をご紹介いただき、手術治療を行なっております。また、周辺救急医療の要として、近隣病院の救急外来、救急隊とも連携し、急性大動脈解離、大動脈瘤破裂といった死に直結する緊急疾患にも積極的に対応しております。

当院の心臓血管外科の特色としましては

1. 従来位通りの安定した心臓開心術
2. 外科的大動脈術、血管内治療であるステントグラフト内挿術、あるいはその両方の術式を組み合わせたハイブリッド手術
3. 下肢静脈瘤レーザー手術、シャント造設術、下肢バイパス手術をはじめとした抹消血管手術

上記3つを柱とし、どの分野においても成績、結果に偏りがないように、治療の安定性を心がけながら診療に当たっております。いずれの治療法も時代のニーズに即した、今主流をなしている治療法、術式を取り入れております。



心臓拍動下冠動脈バイパス術後



左総頚動脈-左バイパス術、
胸部ステントグラフト内挿術、
腹部大動脈人工血管置換術を
同時に施行したハイブリッド手術術後

ステントグラフトと外科手術を組み合わせることによって、複雑な大動脈疾患にも対応しています。



下肢静脈瘤レーザー手術

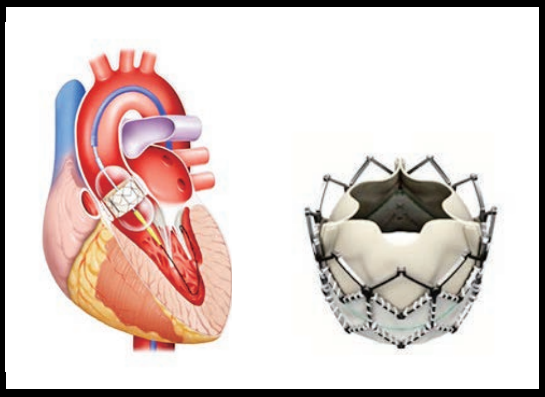
地域のニーズも多く、多数の患者様をご紹介頂いております。当院の静脈瘤治療は全て保険適応内です。

当院は施設としても多くの認定を受けており、新病棟建設に合わせて、秋以降に最新のハイブリッド手術室も完成の予定です。この手術室が完成することにより、弁膜症をカテーテルにて治療することができるTAVI（Transcatheter Aortic Valve Implantation）を年内にとり入れることを検討しております。

ハイブリッド手術室



最新治療に対応するべく、
現在建設計画中です。
今年秋までの導入を予定しております。



TAVI（タビ）は機能が低下している心臓の弁（大動脈弁）をカテーテルと呼ばれる医療用の管を用いて人工の弁と置き換える治療法です。これまで手術に耐えられないと判断された高齢の患者様などにも可能な大動脈弁狭窄症の新しい治療方法となります。また、開胸手術するよりも身体的負担が少ないため、術後の回復が早く入院期間が短くなることが期待できます。

担当医師



心臓血管外科 部長
佐賀 俊文
杏林大学卒

- 3学会構成心臓血管外科専門医
- 日本外科学会専門医
- 日本血管外科学会認定血管内治療医
- 日本脈管学会脈管専門医
- 腹部ステントグラフト指導医
- 胸部ステントグラフト指導医
- 浅大動脈ステントグラフト実施医
- 下肢静脈瘤血管内焼却術指導医
- 弾性ストッキングコンダクター・圧迫療法コンダクター



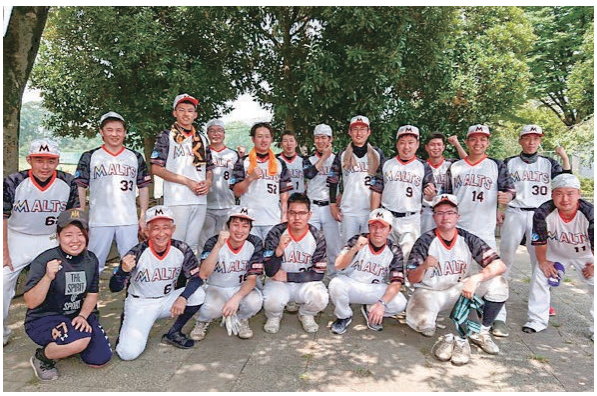
上級指導医
心臓血管外科 部長
富永 隆治
九州大学卒

- 日本胸部外科学会認定医・指導医
- 日本外科学会認定医
- 日本外科学会専門医・指導医
- 日本循環器学会専門医
- 3学会構成心臓血管外科専門医
- 3学会構成心臓血管外科修練責任者
- 3学会構成心臓血管外科修練指導者
- 日本移植学会移植認定医
- 植込型補助人工心臓実施医

上記2名に3名を加えた、5名体制で診療にあたっております。
これからも地域の循環器外科の中核を担うべく、精進してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

新久喜総合病院 野球部

久喜市大会 1部リーグ 昇格！











当院野球部は、春～秋にかけて久喜市軟式野球大会へ参加しています。

2019年度は悲願の2部リーグ優勝を果たしました。2020年度から1部リーグに昇格し、そこでも3位という好成績を収めました。

メンバーは医師、看護師、リハビリ職員、事務職員等、様々な職種で構成されており、野球を通して多くの方と関わる事が病院内でのチーム医療にも一役買っています。

職種関係なくチームで団結し、来年度は関東カマチグループ病院大会（通称Kリーグ）での優勝、久喜市1部リーグでの優勝を目指して頑張ります。

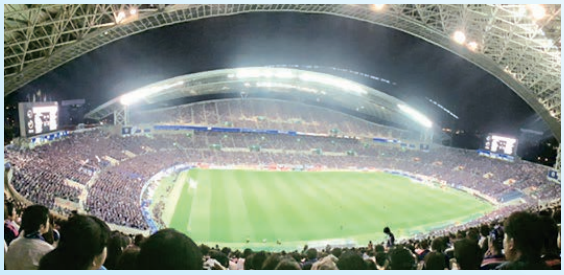
リハビリテーション科　若林　健太郎

部活紹介

フットサル部











フットサル部では週1回久喜市総合運動公園を利用しフットサルを楽しんでいます。

25人ほどの部員を中心に活動していますが、部員以外も参加可能であり初心者でも気軽に楽しむことができます。リハビリスタッフが多いですが、医師や検査技師など他部署の方とも一緒にフットサルを行っており、職種の垣根を越えて関われることも魅力の1つです。

現在は、新型コロナウイルスの影響により控えていますが、みんなで日本代表戦や浦和レッズの試合を見に行ったり、3か月に1回の頻度で大会参加、年に1度関東カマチグループ病院が集まり試合をする蒲池カップという大会にも出場しています。

リハビリテーション科　森　亮磨

頼れる!

新久喜総合病院周辺の地域医療を支える
地域密着型医療施設のご紹介コーナー

地域医療ネットワーク









院長 重城 裕 先生

- 当院は菖蒲町にある開業8年目の泌尿器科クリニックです。「泌尿器科」というと入りにくいというイメージを持たれる方も多いと思いますが、職員一同、患者さん目線の優しく明るいクリニックであることを心がけています。
- 前立腺肥大症、尿失禁、膀胱炎、尿路結石、尿道炎、過活動膀胱、神経因性膀胱、亀頭包皮炎、包茎、腎盂腎炎、前立腺がん、腎臓がん、膀胱がんの検査・治療の他、一般内科の診察、成人の各種予防接種も行っております。





重城泌尿器科クリニック（じゅうじょう）

診療科目 泌尿器科 / 内科

〒346-0114　埼玉県久喜市菖蒲町上栢間3168　TEL：0480-85-9088

受付時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
8:45 ～11:30	○	—	○	○	○	○	—
14:45 ～17:00	▲	—	○	○	○	★	—

休診日：火曜・日曜・祝日、第2・第4月曜午後
▲：月曜午後　第1・3・5は、通常診療しています。
★：完全予約制　第2・4土曜午後　看護師による排泄ケア外来



家でもできる！ 頭を使って

健康体操

家で過ごす時間が増えて体を動かす機会が少なくなっていませんか?
家でも簡単にできる体操をご紹介します!
数を数えながら運動をして脳と体を活性化させましょう!!

A 椅子に座って声を出して数を数えながら**足踏みを30回**しましょう



B **3と3の倍数**で手をたたきましょう

慣れてきたら
数を変えて
やってみましょう



スタッフ募集



新久喜総合病院

新久喜総合病院は、24時間365日「断らない病院」として、地域に必要とされる2次救急に対応し、高度な入院機能を特徴として、急病人や重傷者を治療する医療機関です。

また、災害拠点病院としての機能を有しており、災害派遣チーム（DMAT）及び埼玉県特別機動援助隊（埼玉SMART）として活動しています。

さらに地域医療支援病院として、地域医療のより質の高い医療を提供できるよう病診連携・病病連携・介護連携にも力を入れております。

病院概要

開　　設：2016年4月1日
診 療 科 目：内科/消化器内科/循環器内科/呼吸器内科/代謝・糖尿病内科/腎臓内科/脳神経内科/外科/呼吸器外科/心臓血管外科/消化器外科/乳腺外科/小児外科
肛門外科/整形外科/脳神経外科/形成外科/リウマチ科/皮膚科/泌尿器科/婦人科/眼科/耳鼻咽喉科/リハビリテーション科/放射線科/麻酔科/救急科/病理診断科
病　床　数：344床　急性期病棟：226床　ICU：8床　HCU：12床　回復期リハビリテーション病棟：98床
看 護 基 準：急性期病棟：7対1　ICU：2対1　HCU：4対1　回復期リハビリテーション病棟：13対1
救急搬入患者数：月約500件
手 術 件 数：月約300件

募集職種　**看護師・准看護師・看護助手・薬剤師・検査技師・放射線技師・臨床工学技士・社会福祉士・理学療法士 作業療法士・言語聴覚士**　※詳細はホームページをご確認下さい。http://shinkuki-hp.jp

■所在地　埼玉県久喜市上早見418-1　　■お問い合わせ先　TEL 0480-26-0033



看護部 新棟OPENのため 募集枠拡大!!

急性期・災害・回復期すべて学べます!現在336床ですが、令和3年4月からは新棟が完成し391床で稼働予定。高度急性期病院として地域から必要とされる医療、24時間365日断らない医療を目指していきます。お気軽に代表電話へご連絡下さい。

☎ 0480-26-0033（内線：2222）

編集後記

今回は表紙にシクラメンのお花を掲載させていただきました。こちらのシクラメンは、加須市にございます田中園芸様が私たち医療従事者や、病院に訪れるすべての方が、花を見る事で心に安らぎを感じていただけるようにとお贈りいただいたお花です。ご提供いただきました田中園芸様、本当にありがとうございました。まだまだ厳しい状況が続いておりますが、皆様もご自愛ください。

地域医療支援センター　宮原　裕之



お車の場合
県道3号、久喜市上早見の交差点を菖蒲方面に曲がり約250m（久喜ICより約3分）

電車の場合
JR宇都宮線・東武伊勢崎線 久喜駅下車、徒歩約30分

バスの場合
[朝日バス]久喜駅西口から約10分
- 久西01　久喜駅西口～新久喜総合病院前～菖蒲仲橋
- 久西02　久喜駅西口～新久喜総合病院（玄関）～菖蒲仲橋

[久喜市市内循環バス]
- 除堀・所久喜循環
- 六万部・北中曽根循環

新久喜総合病院 広報誌
ともに vol. 12
～患者様と共に、地域の皆様と共に、職員と共に～

医療法人社団 埼玉巨樹の会
新久喜総合病院
〒346-8530 埼玉県久喜市上早見418-1
http://shinkuki-hp.jp
TEL 0480-26-0033　FAX 0480-44-8026

発行日：令和3年3月1日　　担当者：地域医療支援センター 伊藤 匠